

議決権行使レポート

証券コード 6419

会社名 マースグループホールディングス

	賛成	反対	棄権
議案 剰余金処分の件	○		

議案を要約すると下記の通りである。

「業績を加味し、今年度の年間配当金を 70 円とすること」^[1] に対しての賛否。

上記の推奨をした理由

《1》ISS 社が発表した「2023 年度日本向け議決権行使助言基準」^[2]の剰余金処分を要約すると下記の通りである。

以下の場合に当てはまらない場合は基本的に賛成を推奨。

- ① 十分な説明がなく、配当性向が継続的に低い場合。
- ② 配当性向があまりに高く、財務の健全性に悪影響を与えうる場合。

ISS 社によると今期の配当性向は
15~100%の間に収まっていれば、
適正值である。^[2]

この基準に当てはめれば、今期のマースグループ
ホールディングスの配当性向は **36.8%**^[3]であるため、
議案に賛成することが適当であると言える。

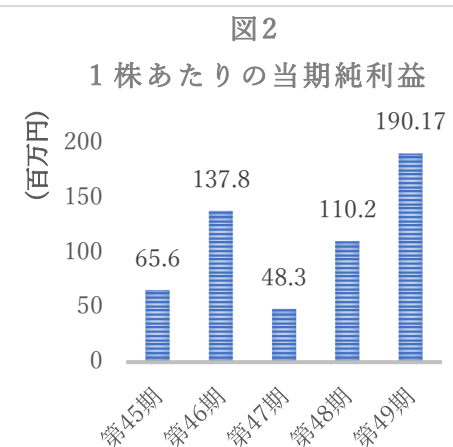
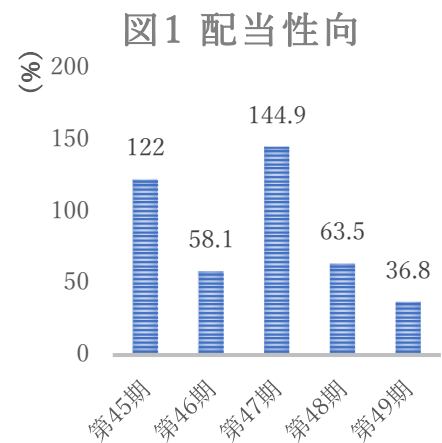
【補足】

直近 5 年の配当性向^{[3][4][5]}は図 1 の通りである。

45・47 期を除き、全て適正範囲に収まっている。

また、その 2 期の配当性向が上ぶれてしまったのは、
純利益（図 2）が少ないにも関わらず、例年と変わらない配当（図 3 を参照）を行ったからである。

言い換えれば、純利益が少なかったにも関わらず、株主に多く還元したということであるが、この行動は企業の使用可能な資金を削ることと同義である。配当性向が著しく高い場合は、企業の財務が不安定になるため、株主にとって、一概に良いとは言い切れないことを心の隅に留めておきたい。



《2》GLASS LEWIS 社が発表した「2023 Policy Guidelines Japan」の「Allocation of Profits/Dividends」^[6]を参照すると、

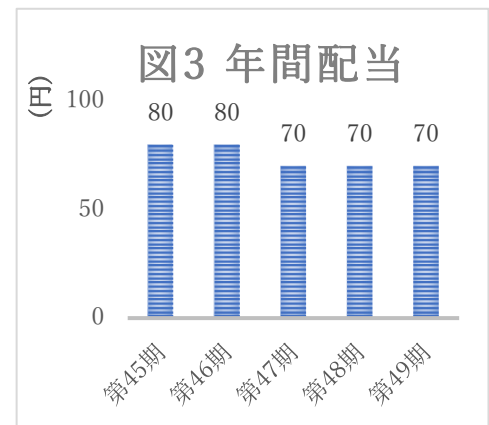
「弊社は、原則的に、企業の配当金(または無配当)の方針を支持する」

という文言が見受けられる。この方針に従うのであれば、議案に対して賛成することが適当であると考える。

【補足】

マースグループホールディングスの直近5年間の年間配当^{[3][4][5]}は図3の通り、ほぼ変動していないということがわかる。株主にとって、配当がある程度均一であることの利点は下図で説明できる。

株価	配当利回り	株主の利益
高くなる	下がる	増加
低くなる	上がる	場合による



株価が高くなれば、その株価の増加分は利益となり、配当利回りは下がったように見えるかもしれないが、一株あたりの配当額は変動しないため、株主の受ける利益は増加する。

株価が低くなれば、その株価の減少分は損失となるが、配当利回りは上昇するため、高水準の配当利回り目的で株の需要が高まり、再度株価が上昇することが予想できる。

どちらにしても、株主側の受ける損失は少なくなるため、安心して購入することができる。

このように安定した配当を受け取ることも良いが、企業の成長をさらに優先するのであれば、純利益に応じて、配当を変更する方が良いと思われる。一定の資金を自社・他社問わず、投資に用いることができるからだ。

しかしながら、今期はここ5年で最大の純利益を生み出しており、年間配当は据え置きであるため、企業の投資に資金を割くことができる。そのように考えると、反対する理由はあまり見つかからない。

配当以外に株主が受ける還元についても注目してみると、日本には、海外にはない株主優待という概念が存在する。それによる株主に対する還元も考慮するべきであろう。

だが、マースグループホールディングスの株主優待^[7]は

- ・ 100 株～500 株未満 1000 円相当の QUO カード
- ・ 500 株～1000 株未満 3000 円相当の地方特産品
- ・ 1000 株以上 5000 円相当の食品カタログ

となっており、現在(6/22)の株価が2700円弱^[8]であることを考慮すると、各株主還元の最低株数を満たすためには、それぞれ約270,000円、1,350,000円、2,700,000円必要であるため、株主優待による還元がないに等しいと考えることができる。

【まとめ】

《1》のISS社の基準及び《2》のGLASS LEWIS社の基準の双方を満たしている。加えて、来年は増配を予想されているため、無理に剰余金を株主に還元させて、事業計画を狂わせることを行うべきではないと考え、反対を行う理由がないように見受けられる。以上より、今年度の剰余金処分の議案に対して、賛成することが適当であると考える。

【参考】

[1] 株式会社マースグループホールディングス. (2023, June 7). 第49回 定時株主総会 招集ご通知. 日本取引所グループ東京証券取引所.

<https://www2.jpx.co.jp/disc/64190/140120230606596625.pdf>

[2] Institutional Shareholder Services Inc. (2023, February 1). 2023年版 日本向け 議決権行使助言基準. Issgovernance.Com.

<https://www.issgovernance.com/file/policy/active/asiapacific/Japan-Voting-Guidelines-Japanese.pdf>

[3] 株式会社マースグループホールディングス. (2023, May 15). 株式会社マースグループホールディングス. 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結).

https://www.mars-ghd.co.jp/ir_pdf/6419_20230515_1f.pdf

[4] 株式会社マースグループホールディングス. (2021, May 17). 株式会社マースグループホールディングス. 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結).

https://www.mars-ghd.co.jp/ir_pdf/6419_20210517_1a.pdf

[5] 株式会社マースグループホールディングス. (2019, May 20). 株式会社マースグループホールディングス. 2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結).

https://www.mars-ghd.co.jp/ir_pdf/6419_310520_01w.pdf

[6] Glass, lewis & co. (2023, January). GLASS LEWIS 2023 Policy Guidelines.

Www.Glasslewis.Com. <https://www.glasslewis.com/wp-content/uploads/2023/01/日本-Voting-Guidelines-Japan-in-Japanese-2023.pdf?hsCtaTracking=07233264-395e-4cee-88bb-e445739eefc2%7C6728a1a4-8f20-4c80-ba20-0a4ca82ba2a1>

[7] 株式会社マースグループホールディングス. (n.d.). 株主優待. IR情報. <https://www.mars-ghd.co.jp/ir-hospitality.html>

[8] 日本取引所グループ東京証券取引所. (2023, June 22). -マースグループホールディングス-. 株価検索.

https://quote.jpx.co.jp/jpx/template/quote.cgi?F=tmp/stock_detail&MKTN=T&QCODE=6419